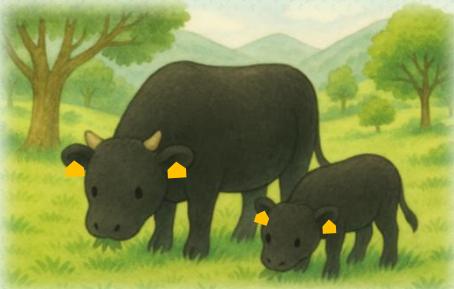


国産飼料基盤に立脚した 魅力ある放牧の推進に向けて



参加申し込みはこちらから

先着 約80名

放牧技術の研修会 (参加無料)

飼料価格の高止まり等により、国産飼料基盤に立脚した持続的な経営への転換が課題となっております。このような中、放牧については、飼養管理の省力化も図ることが可能なことから取組の普及が期待されております。については、九州地域における畜産農家の生産コストの低減や労力軽減、飼料増産を促すため、放牧技術に関する研修会をオンラインで開催いたします。ぜひご参加ください。



2026年3月6日 [金] 13:30~16:00

オンライン (Microsoft TeamsによるWEB参加)

【研修内容】

- 講演 (耕作放棄地で肉用牛放牧を進めるために)
(一社) 日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー 梨木 守 氏
- 講演 (放牧地における草種選定と冬季における飼料確保について)
(国研) 農研機構九州沖縄農業研究センター 池田 堅太郎 氏
- 事例発表 (熊本県における放牧事例)
熊本県阿蘇郡南阿蘇村 肉用牛繁殖経営 中村 和章 氏
熊本県天草市 肉用牛繁殖経営 前田 龍一 氏

主催：九州農政局, (一社)日本草地畜産種子協会

注意事項：参加には事前の申し込みが必要です。本紙上部右側の二次元コードから2月25日（水）17時までにお願いします。詳しくは、当欄右側の二次元コードから参照願います。

【お問合せ先：九州農政局畜産課 草地、自給飼料担当 096-300-6290】



Webサイト